

第二話 「ポーランド孤児こじを救った日本人たち」

〜日本・ポーランド交流の歴史〜

◆ポーランドの悲劇と日本との出会い

十八世紀の後半、東ヨーロッパに位置するポーランドの周辺にはロシア、オーストリア、プロイセン（後のドイツ）という当時の超大国が存在しました。ポーランドはこれらの国に分割されていき、ついには一七九五年の第三次ポーランド分割*1により、国土のすべてが消滅しょうめつしています。

独立運動を展開した愛国者たちは家族もろとも流刑るけいとなり、シベリアに送られます。しかし送られても送られても、独立運動は後を絶ちませんでした。このような時代が百年以上続き、二十世紀を迎えました。

ポーランドがロシアの支配下にあった一九〇二年、ポーランドのブロニスワフ・ピウスツキ*2という民族学者が来日します。彼は独立運動家の流刑地るけいちであったサハリン*3（樺太）でアイ